

論文の訂正について

日本教育大学協会年報編集委員会

研究年報第39集掲載の下記論文の著者より、論文中の調査結果の数値とそれに基づく分析に誤りがあり、修正したいとの報告と依頼があった。年報編集委員会で修正内容を検討した結果、本論文の論旨に大きな影響を及ぼすものではない、と判断した。論文の取り消しは行わず、著者からの報告があった以下の正誤表を掲載する。

記

学校ボランティア活動を含めた教育実習改革の効果検証

—学生の意識と達成目標に基づく評価の変容—

『日本教育大学協会研究年報』第39集(2021) pp.87-97

〈正誤表〉

頁・行	誤	正
p.89・左段 8-11行目	「⑤実習を通じて「教育的愛情」を感じることができた」については中学校で改革後に低下する結果となったが、それ以外の項目については、何れも	全ての項目で
p.89・右段 表2	H30 小 ②3.69 ③3.61 ④3.61 ⑤3.62 H30 中 ⑤3.48	H30 小 ②3.72 ③3.57 ④3.59 ⑤3.59 H30 中 ⑤3.33
p.94・右段 13-16行目	表2からは、児童・生徒とのコミュニケーションや児童・生徒理解に関する意識は小学校同様高まっていたが、教育的愛情についての意識には低下が見られた。	表2から、児童・生徒とのコミュニケーションや児童・生徒理解に関する意識、教育的愛情についての意識も、小学校同様高まりが見られた。
p.94・右段 25行目	学生の意識向上や、	[削除]
p.95・右段 24-25行目	「教育的愛情」についての意識が改革前よりも低下し、	[削除]